

令和6年度 伊形小学校 自己評価書

学校経営の 経営方針	授業力の向上を核として、いつも児童が笑顔いっぱい成長することを目指し、本校校区の特性を生かしながら「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」に努める。そのため、「導き、見守り、見届ける教育」の推進を基本理念として、教師の資質向上を図りながら組織としての意識を高め、「いつもよく学ぶ子 がんばりぬく子 たすけあい、はげまし合う子」の実現に取り組む。	
学校の教育目標	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成	
めざす児童像	いつもよく学ぶ子 がんばりぬく子 たすけあい、はげまし合う子	
本年度の 重点目標	<p>○ きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある児童の育成</p> <p>・挨拶、礼儀指導の徹底 ・基本的な生活習慣の定着</p> <p>・主体的、協働的な教育活動の推進 ・思いやる心の育成</p> <p>○ 基礎的・基本的内容の習得と学習・読書活動の定着</p> <p>・個に応じた指導の充実・家庭と連携した学習習慣の定着</p> <p>・読書の習慣化 ・ICTを活用した授業の工夫</p> <p>○ ふるさと伊形を大切にすることを教育の充実と地域に貢献する人づくり</p> <p>・体験活動や交流活動の充実 ・ふるさと教育の推進</p>	<p>○ 健康安全・防災教育の推進と教育環境の整備・充実</p> <p>・いじめ、不登校の未然防止や早期発見</p> <p>・危機回避能力育成 ・運動の日常化につながる体育科授業</p> <p>○ 保護者・地域の信頼と期待に応える学校づくり</p> <p>・PTA活動の充実、活性化 ・幼保小中連携の推進</p> <p>・コミュニティ・スクールの充実</p> <p>○ 働き方改革の推進</p> <p>・学校納入金の口座振替 ・教育活動の見直し</p>

学校の教育活動等の評価（4段階評価）

4：よくあてはまる	3：ややあてはまる	2：あまりあてはまらない	1：全くあてはまらない
-----------	-----------	--------------	-------------

評価内容			評価	自己評価	学校運営協議会委員の意見
確かな学力	1	学校は、児童が自ら学び、友達と学び合い高める力を身に付けるような学習活動になるよう工夫している。	3.2	<p>○ 多くの学年が、地域素材・人材を活用した活動を行ってきたことで、ふるさと伊形を大切にすることを高めていく。</p> <p>○ 読書活動の評価は、昨年度より上がったが、十分であるとは言えない。次年度はさらに家庭と連携した日常的な取組を行い、子どもたちの読書意欲の向上を図っていく。</p>	<p>○ 伊形小学校は、田植えや芋掘りなどの体験活動が充実しており、体験を通して子ども達は多くのことを学んでいる。学校協力者の方は積極的に参加しているが、子ども達の活動に手を出しすぎる面が見られるので、あくまで「できないところをサポートする」ことでの理解を事前の打ち合わせ等で図っていく必要があると考える。</p> <p>また、体験活動における手順や取組等を協力者に委ねる面も見られるので、今後は先生方が主となって取り組んでもらいたい。そうすることで、先生方一人一人が指導力や必要なスキルを高められると感じている。</p> <p>○ 先生方が地域の行事に顔を出したり、地域に足を運んだりすることで、地域素材を知ることが大切ではないか。夏季休業中等に、職員研修として位置づけてはどうか。</p> <p>○ 昨年度に続き、「習慣的な読書活動」の評価が低かった。伊形小「家庭の日・地域の日」に親子読書を行っていただくなど、学校から積極的に呼びかけを行って欲しい。</p>
	2	学校は、個に応じたきめ細やかな指導の充実と基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。	3.2		
	3	学校は、地域素材・人材を積極的に活用し、ふるさと伊形を大切にした教育の充実を図っている。	3.5		
	4	子どもたちは習慣的に読書をしている。	2.6		
豊かな心	5	学校は、いじめや差別のない温かい人間関係づくりに努めている。	3.3	<p>○ 友達との関わり合いの中で、トラブルが生じることはあったが、担任が素早く実態把握に努め、家庭と連携しながら対応したことで、大きな問題へと発展することはなかった。今後も、全職員で一貫した指導を心掛け、楽しい学校づくりに努めていく。</p> <p>○ 学校長の推進力や担任の呼びかけ等により、ゴミを拾いながら登校する児童や朝から校内のボランティア活動を行う姿が見られるなど、「幸動」を意識した行動が増えている。今後も意識の継続化を図っていききたい。</p>	<p>○ 問題を未然に防ぐ指導は今後も大切にしていきたい。また、問題が起きた際は、これまで同様、組織的に素早く対応していただきたい。</p> <p>○ 子ども達のあいさつ運動や、保護者も巻き込んだあいさつ運動等、様々な工夫を行いながら、児童・保護者のあいさつへの意識を高めてもらいたい。</p>
	6	子どもたちは、あいさつや返事、言葉遣いなど、相手を大切にする言動ができている。	2.9		
	7	子どもたちに、友達や周りの人への思いやりのある言葉かけ等をする態度が見られる。	3.1		

	8	子どもたちに、「幸動」(自他の幸せのために学び行動する子ども)を意識した態度が見られる。	3.1		○ 子ども達の「幸動」への意識が高まっており、嬉しく感じる。今後は、学校から家庭へそして地域へと「幸動」する姿が多く見られるようになることよい。
健やかな体	9	子どもたちは、外遊びやスポーツなど、日常的に運動している。	3.2	○ 担任の呼びかけ等により、昼休みに運動場で楽しく遊ぶ姿が多く見られるようになった。 ○ 生活リズムと規則を守る評価は昨年度より下回ったが、昨年度に比べて登校中によるケガが随分減った。今後も継続して安全教育の充実を図っていく。	○ 学級みんなで遊ぶ日、全校で遊ぶ日など今後も計画していただき、日常的に元気いっぱい遊ぶ子どもたちを育み、体力の向上を図ってもらいたい。 ○ 車での登校が多く見られる。できるだけ歩いて登校するように家庭に呼びかけてもらいたい。 ○ 本年度、大きなけがや事故もなく、子どもたちが元気に登校できたことが嬉しい。今後も、学校全体で安全教育の充実を図ってもらいたい。
	10	子どもたちは、生活リズム(早寝、早起き、朝ご飯)が身に付いている。	3.0		
	11	子どもたちは、進んで決まりを守り、安全に行動している。	2.9		
地域・保護者	12	保護者は、様々な学校行事に協力することができている。	3.1	○ PTA執行部をはじめ、本当に多くの保護者の方が協力的であり、学校の教育活動を大きく支えていただいた。 ○ 参観日の授業参観には、多くの保護者の姿が見られたが、懇談会の参加率が低かった。次年度は、懇談への参加率を上げていく工夫を行っていききたい。 ○ 夜遅くまで起きている児童の様子もうかがえるため、基本的な生活習慣の重要性を保護者にも訴えていきたい。	○ 運動会やPTAバザー等、学校行事に対して協力的な保護者の方が多く嬉しく感じる。今後も参加を呼びかけてもらいたい。また、保護者間の結束が学校運営には重要となるので、保護者間の「絆づくり」につながる取組も大事にしてもらいたい。 ○ 参観日の懇談会への出席率を上げるために、懇談「テーマ」を決めて保護者同士が話し合う時間を設定したり、中学校の先生を招聘し中学校に向けての話をしていただいたり、保護者に役割を与えたりする等、魅力ある懇談会を計画していただき、全体の出席率を上げてもらいたい。 ○ 参観・懇談に参加できない保護者に対しては、個別に呼びかけたり、個別面談を行ったりしながら、保護者の意識を高めていくことよいのではないかと。 ○ ゲームやSNSに依存している児童が増えている気がする。生活リズムの重要性を訴えたり、外部講師の方からスマホ・ゲームの危険性について講話をしていただいたりしながら、児童の健全育成に努めていただきたい。
	13	保護者は、様々なPTA活動の充実に向けて協力することができている。	3.1		
	14	保護者は、子どもが集中して学習に取り組める家庭環境作りに努めている。	3.0		
	15	保護者は、子どもの基本的な生活習慣を整えるよう努力している。	3.1		

※ 評価の数字は保護者と教職員の評価を平均して算出。

※ 学校運営協議会を受けて、今後取り組みたい事項

	今後取り組みたい事項
確かな学力	○ 家庭との連携を図りながら、日常的に家庭読書にも取り組ませていく。また、伊形小「家庭の日・地域の日」に家庭読書に取り組んでいただけるよう呼びかけていく。
豊かな心	○ 「幸動」に対する意識と行動力をさらに高めるために称賛活動を行い、家庭や地域においても「幸動」の姿が見られるように手立てを講じていく。 ○ 主体的に児童が取り組める「あいさつ運動」や「ボランティア活動」を推進し、豊かな心を育てていく。
健やかな体	○ 体調不良や様々な事情がある場合を除き、できるだけ歩いて登校するように家庭に働きかけていく。 ○ 体育委員会が中心となって、昼休みの全校遊びを呼びかけていく。
その他 (成果・課題)	○ 6月に行った「熟議」を受け、下記の内容を本年度中に実践に移せたことは大きな成果だと考える。 ・チラシを作成し、学校運営協議会の皆様、学校安全ボランティアの方々を紹介できたこと ・「絆づくり」を呼びかけるチラシを作成し、地域の方々に配付できたこと ・地域の方々と2月にグラウンドゴルフ大会を実施できたこと ・下伊形地区の「えびす会」の方々から指導していただき、伊形地区の郷土料理である「だご汁」の調理実習を行えたこと ※ 今後も内容の改善を図りながら、「絆づくり」の取組を推進していく。 ○ 保護者や職員に対して、学校運営協議会の活動や内容を伝えることができなかった。様々な機会を生かし、学校運営協議会への理解を深めていく。 ○ 学校協力者がすべき内容、担任がすべき内容を明確にしながら、体験活動を充実させていく。